

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年7月9日、午前9時から野見湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

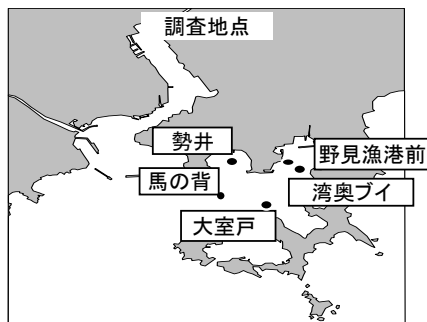
検鏡の結果、珪藻類がほとんどでしたが、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で630cells/ml確認され、被害が想定される濃度を越えていました。また、ヘテロシグマ・アカシオが最高で26cells/ml、デイクチオカ・フィブラが最高で6cells/ml確認されました。なお、シャットネラ属は今回確認されませんでした。

※カレニア・ミキモトイは上下に移動(日周鉛直移動)するため、午前中に潮色が良くても午後に着色する可能性があります。また、潮流や風でも移動し、集積する可能性があります。十分に慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	ヘテロシグマ・アカシオ	デイクチオカ・フィブラ	シャットネラ属
湾奥ブイ	0m	0	5	0	0
	2m	28	1	1	0
	5m	132	2	5	0
	8m	310	0	6	0
大室戸	0m	2	20	0	0
	2m	9	1	1	0
	5m	46	0	1	0
	8m	180	0	1	0
馬の背	0m	2	0	0	0
	2m	46	0	2	0
	5m	19	0	1	0
	8m	530	0	1	0
勢井	0m	2	0	0	0
	2m	18	1	1	0
	5m	210	0	1	0
	8m	250	1	1	0
野見漁港前	0m	0	26	1	0
	2m	3	0	1	0
	5m	10	0	1	0
	8m	630	0	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ(へい死): 数百~数千cells/ml
- ・シャットネラ属(へい死): 10~100cells/ml
- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死): 10,000~50,000cells/ml
- ・デイクチオカ・フィブラ(へい死): 5,000cells/ml

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>